



2026年3月9日

株式会社 中国銀行

美作大学 × 中国銀行 寄付講座  
「動画制作講座&コンテスト」を開催しました！

中国銀行（岡山市 頭取 加藤 貞則）では、美作大学と連携し、寄付講座「動画制作講座&コンテスト」を開催しました。

本寄付講座は動画制作を学び、作成した動画をコンテストで発表するもので、9組・18名の学生が参加されました。『中国銀行を知りたい！使ってみたい！』をテーマに動画を制作いただき、学生ならではの視点と創造性を活かした作品が多数生まれました。

今回の取組みを通じ、学生の創造力と地域連携の新たな可能性を実感する機会となりました。当行では、今後も地域の次世代を応援していくことで、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

1. 講座（2026年2月10日（火）9：00～17：00）

午前は講義編として、行員による業務紹介ののち、動画制作の知見を持つ美作大学卒業生の齋藤久美子氏を講師に、動画編集ツールの操作方法や動画事例の解説がありました。

午後は実践編として、動画の企画づくりから撮影・編集までを通して体験。企画作りに向けた行員へのインタビューや、ストーリーの参考にさまざまな動画を見るなど、活発なやりとりがありました。また、ちゅうぎんアプリキャラクター「ももちゅ」や美作大学キャラクター「ミマダイン」も登場し、学生の自由な発想を活かした制作が進みました。

短い時間にもかかわらず、主体的に制作に取組み、翌週のコンテストに向けて企画・撮影・編集を進めました。



## 2. コンテスト（2026年2月17日（火）10:00～12:00）

約1週間の制作期間ののち、講座と実践の成果を発表するコンテストを実施しました。

動画は『中国銀行を知りたい！使ってみよう！』をテーマに作成。見た人にどう感じ、行動してほしいかといった狙いを9組それぞれ発表いただき、動画を上映しました。

「ももちゅ」や「ミマダイナ」を取入れた親しみやすい表現、財形預金やアプリ機能紹介など実用的なテーマまで幅広いアプローチが見られ、切り口の新鮮さに審査員からも驚きの声が上がりました。会場は笑い、驚き、声援などにあふれ、終始活気に満ちたコンテストとなりました。

最優秀賞は、跳び箱のシーンを比喩的に使い、積立による「未来への一歩」を描いた『NISAで積立』（チームキタニ）が受賞。当行のキャッチフレーズ「やってみよう。」を日常の行動に重ね、こつこつ続ける姿勢を伝えたいと制作の思いをいただきました。



## 3. 制作動画

講座の様子と受賞作品については『ちゅうぎん FG 公式 Instagram』でご覧いただけます。

最優秀賞：チームキタニ『NISAで積立』

優秀賞：チームミマダイナ『ミマダイナ×中国銀行』

奨励賞：コショウ『銀行員あるある』



Instagram 投稿イメージ

以上

本件に関するお問い合わせ先（TEL 086-223-3111）

地方創生 SDGs 推進部 井上（086-234-6351）

広報センター 岡嶋（内線2255）